

実施報告書

名称：大学に企業・他大学の人を呼び込み、連携研究から社会貢献に繋げよう
～産学連携・共用利用促進のためのプロジェクトマネジメント講習～

- 【開催日】** : 平成 29 年 12 月 1 日 (金) 14:00～17:00
【開催場所】 : 北陸先端科学技術大学院大学 金沢オフィス
【主催/運営者】 : 分子物質合成プラットフォーム、大学連携研究設備ネットワーク事業
【派遣講師】 : 松山 豊(セレンディップ・コンサルティング株式会社)
【受講報告者】 : 21 名 (講師・関係者除く)

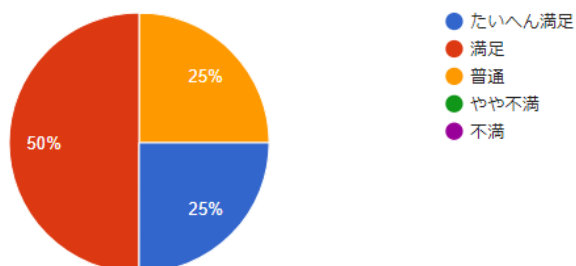
【プログラム】

- 14:00～14:40 ナノテクノロジープラットフォームの成果を社会貢献につなげるプロジェクトマネジメント (松山 豊)
14:40～15:10 事例紹介と分析
15:20～16:00 産学官金の連携について～ディスカッションを通じた学習～
●連携のプロセス マーケティングの4Pを意識して)
●対象探し (ものづくり4Mの視点で探す)
●経営者・担当者の意欲や経済的な余裕 (金融機関の役割)
●利用の計画 (良いところを引き出すアジャイルな開発・実験、強みの見える化、伝わる言葉で)
●利用推進 (スケジュール管理、事前打ち合わせ、実施立会い、成果考察・報告会)
●成果のプロモーション (展示会、YouTube等のSNS、プレスリリース新聞・テレビ等)
16:00～16:30 プロジェクトマネジメント演習
16:30～17:00 質疑応答

【報告】

・全国の URA、産学連携関係者、ナノテクノロジープラットフォーム支援関係者、技術職員 21 名が参加し、特に成果の広報について方法を学んだ。
質問では、URA がどこまで踏み込んだ広報を行うべきか、新聞社や銀行との関係づくりについて、リンカーズ等の外部連携のメリット・デメリットについてなど活発に意見交換が行われた。

- ・アンケート集計
- ・講習会の満足度



- ・よかった点

いろいろな観点からの討論ができたところ
産学連携を行っていく上でどのように進めていった方がいいのか、どの点に注意すべきか学ぶことができました。少人数制でディカッションしながら充実した時間でした。
メディアの利用やアジャイルな目標設定など、実用的なお話が聞けたこと。
わかりやすい説明で、十分に講習会の内容を理解できた。
実際の活動内容を基にした講演を聴けた
内容がわかりやすかった
分かりやすく、だれでも始められる
松山氏のやり方や行動力は参考になった。

- ・悪かった点

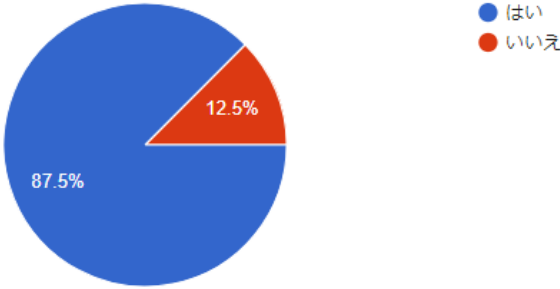
少し時間が短いように感じた
事前のアンケートの質問に対する答えがなかったのが残念です。参加者にネームプレートをつけてほしかったです。
最後の演習はもう少し詳しい説明が欲しかったです。
もう少し時間が長くても良かった
重点的に聞きたい部分に時間を割いてもらっていない
付きっきりではなく限られた人員で効率的な広報のやり方を知りたかった。

- ・全体の感想

参考になる意見がたくさん聞けたことは大変有意義だと感じた。
講演内容は理想的なプロジェクトの進め方で素晴らしく感じました。ただ正直、技術職員としての業務の範囲を超えており、実務でどこまでできるか不安になりました。

講演者のお人柄も含め、全体的に自由闊達な雰囲気で質問し易かった点が大変良かったと思います。
本講習会は URA の方々が是非受けるべきでは、と感じました。ただし、技術職員としても、わかり易い「見える化」を意識した報告書づくりをすることで、次の依頼分析の機会も増えるのでは、と感じました。
来年度 JST 参加がなくなる状況下で、良い企画だった
初回としては良かったと思いますが、次回があるならユーザー獲得の具体的方法論などに絞って話を聞きたいです。
先生の温和で人懐っこい雰囲気が会場全体に伝わり、居心地の良かったです。
もっと広報について議論するのかと思っていたが、1ユーザーのための議論に使われたようで残念。

・今後も参加したいですか？



・今後開催して欲しい企画

今回のプロジェクトマネジメント講習の第2弾を期待しています。
今回の続編
プラットフォーム運営に関するマネジメント講習
学外ユーザーの多い機関の活動方法の水平展開

以上